

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社 紀文西日本		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目15番27号	
本票作成	部署名：生産効率保全課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	水産練製品				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山総社工場		岡山県総社市井尻野700番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      1    所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)	(令和 3 )年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	10,123 t CO <sub>2</sub>	12,207 t CO <sub>2</sub>	11,483 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 3 )年度排出量
	①	岡山総社工場	12,207 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 ( 5 箇年度)	
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 3 )年度削減実績	目標削減率      目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 3.1 %	2.0 % <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 3 )年度	目標年度
		0.781 t CO <sub>2</sub> /( t )	0.805 t CO <sub>2</sub> /( t )	0.765 t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和3年度においてCO<sub>2</sub>排出量が前年比で123%で増加しています。要因としては、購入先の電力会社が関西電力㈱から中国電力㈱に変更したことが主な原因で、排出係数を比較すると、中国電力㈱では 0.000531に対して、関西電力㈱は、0.000351と約1.51倍と係数が大きくなったためこのような結果となっています。しかしながら、原油換算では、前年度、6,209kℓに対して、6,195kℓとわずかではあるが減っています、それに対して原単位の基になる生産重量は前年度は、15,132ton、令和3年度は、15,156tonと増量しています。これを見ると使用方法がよくなっているとみています。これについては以前より行っている設備トラブル削減、この効果として電気ガスの使用量を抑制することができ効果が現れたものだと考えます。トラブルを少なくすることで無駄な電気やガスの使用量を抑え会社としても無駄をなくしていきたいと考えています。

**【推進体制】**

日々のエネルギー使用量の確認を行い、各生産ラインごとの電気、ガスの使用量を計対比で確認し使用量から、使い方、設備異常など見つけ出し対策を行っている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山総社工場	<p>(令和3年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 室外機への散水装置維持管理</li><li>・ 室外機への遮光カーテン維持管理</li><li>・ 老朽化設備の入替、メンテナンスによる効率化</li><li>・ 生産設備トラブル削減（生産設備のトラブルによる無駄な電力・ガス使用量を抑える）</li></ul> <p>トラブル時間削減のため、定期メンテナンスなどの予防保全の実施。 約116tCo2削減効果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 一部生産ライン停止による使用電力量削減（繁忙期までの数か月間）</li></ul> <p>約5.97tCo2削減効果</p> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 室外機への散水装置維持管理</li><li>・ 室外機への遮光カーテン維持管理</li><li>・ 老朽化設備の入替、メンテナンスによる効率化</li><li>・ 冷却設備入電時間規制制御による無駄な電力の抑制（9台）横展開</li></ul> <p>約20.1tCo2削減効果見込み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 生産設備トラブル削減（生産設備のトラブルによる無駄な電力・ガス使用量を抑える）</li></ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--